

令和元年 5 月 15 日
海事局 船舶産業課

海事生産性革命（i-Shipping）を推進する 革新的造船技術研究開発事業 12 件に対する支援を決定しました

～造船現場の生産性を抜本的に向上～

国土交通省では、海事生産性革命（i-Shipping）の一環として、造船工程における生産性向上を目的とし、IoTやAI技術等を活用した革新的な造船技術の研究開発を支援しています。

今般、令和元年度予算による先進船舶・造船技術研究開発費補助事業（革新的造船技術研究開発）として、12件（新規3件、継続9件）の研究開発に対して補助金の交付を決定しました。

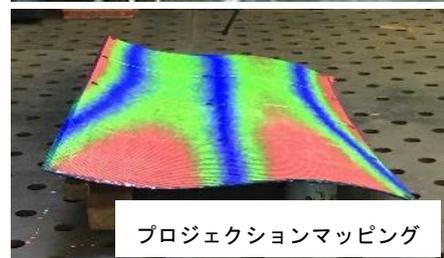
国土交通省は、ICT を利活用して船舶の設計から建造、運航に至る全てのフェーズにおいてイノベーションの創出・生産性向上を目指す海事生産性革命（i-Shipping）を推進しています。その一環として、造船工程における生産性向上を目的として、IoT や AI 等を活用した革新的な造船技術の研究開発を支援しています。

令和元年度予算による先進船舶・造船技術研究開発費補助事業（革新的造船技術研究開発）について、平成 31 年 2 月 1 日から 2 月 28 日までの間、革新的な造船技術の研究開発事業の募集をしました。

外部有識者からなる評価委員会における評価を経て、別紙の 12 件（新規 3 件、継続 9 件）の研究開発事業に対して補助金を交付することを決定しました。



熟練工による作業



プロジェクションマッピング

（事業例）「レーザスキャナを用いた船体曲がり外板の製造支援」
船体の曲がり外板は、熟練工によるガスバーナでの加熱、水での冷却を繰り返し成形するが、レーザスキャナにより外板の形状を容易に計測するとともに、プロジェクションマッピングにより加熱・冷却箇所の可視化を行う研究



<お問合せ先>

国土交通省 海事局 船舶産業課 谷口・内平・金子
（代表）03-5253-8111（内線）43-623、43-627、43-625
（直通）03-5253-8634（FAX）03-5253-1644

令和元年度 先進船舶・造船技術研究開発費補助事業

(革新的造船技術研究開発) 採択一覧

事業者名※五十音順	新規・継続	事業名称
今治造船(株)	継続	レーザスキャナを用いた船体曲がり外板の製造支援
(株) 臼杵造船所	新規	デジタル情報活用による図面レス建造手法の開発
サノヤス造船(株)	新規	LoRa を利用した外業ステージにおける生産管理の高度化
ジャパン マリンユナイテッド(株)	継続	NC データ準備が不要な溶接ロボットの開発
	継続	造船工程における作業モニタリングの高度化
	新規	片面板継溶接の適用板厚拡大のための新溶接技術開発
鈴木造船(株)	継続	内航船のデジタルモックアップを利用した建造工程の効率化に関する研究開発
東京大学 小池酸素工業(株) (株)新来島どつく (株)名村造船所	継続	造船工場の見える化システムの開発基盤「モニタリング・プラットフォーム」の構築と切断工程および小組立工程へ適用する研究開発
東京計器(株)	継続	情報処理技術を活用した熟練技能者による高粘度液体のミリリットル級液面調整工程の自動化
日本ペイントマリン(株)	継続	革新的塗装工程の導入による造船所の生産性向上に関する研究開発
(株)三井E&Sマシナリー	継続	船用ディーゼルエンジンのスマートファクトリー基盤技術の開発
三菱重工海洋鉄構(株)	継続	造船現場に適した通信網構築による工場可視化及び情報の中央監視による最適化研究(スマート工場化)